

北部地区 学校の望ましい教育環境に関する地域説明会 概要

日 時：令和6年11月7日（木）午後7時から8時5分まで

場 所：西富士中学校 体育館

出席者：24名（うち傍聴者8名）

内 容：1 開会

2 教育長挨拶

3 資料説明

(1) 富士宮市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針

(2) 北部地区 学校の望ましい教育環境に関するアンケート調査結果

(3) 学校の望ましい教育環境に関する保護者懇談会の報告

4 質疑応答

5 閉会

主な意見

○移住者にとっては学校があることが重要。学校がなくなったら移住者がいなくなってしまう。

○区民の意見が一番大事なので、こどもの意見も尊重しながら丁寧に進めてほしい。

○学校を残すために、児童数を増やす努力をしていきたい。現時点では統合は反対。

○人穴小学校では小規模特認校制度を利用していきたいと保護者の意見が固まった。11月6日には要望書を教育委員会に提出した。

○根原分校が休校になってから、人口が減っていった。学校がなくなると地域が衰退する。

○適正規模・適正配置の考え方が小規模の地域のことを考えられていないように感じる。もっと地域のことを考慮してほしい。

○「富士宮の教育」をもっとアピールしていかないと、他県他市町に移住してしまい、さらに人口が減少してしまう。

○児童生徒数を増やすためには、住居を増やしていかなければならないので、教育委員会だけではなく、市長部局と連携していくことが必要。

○地域に働く場所があれば転出しないのではないかと。どうしたらよいのか皆さんと考えていきたい。

○今回のような会を重ねて、地域のあり方、学校のあり方を話し合うことが非常に大事だと思う。具体的な方法を示していただきたい。

- 教育は地域でも保護者でもなく子どもが主役。子どもたちのためにこれからどうしていくのかをみんなで考えていくべき。
- 地区の高校生に話を聞くと、「友達を選べるのが本当にありがたい。」と言っていた。区の見解もあるが、子どもの意見も聞いてもらいたい。
- もう少しスピード感をもって、子どもにとって良い方法を皆さんと考えていきたい。